

オオヒョウタンゴミムシ

兵庫県：A

Scarites sulcatus

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長28～38mm（大あごを含めると43mm）。黒色。大型で中胸の前端が柄状にのびてそこに小楯板があり、大あごがいちじりしく発達している。前脛節が掌状に広がっている。頭楯の中央に1対の剛毛孔点がある。中脛節外縁の棘は2本。海岸や河原の砂浜に生息し、深い坑道を掘る。小動物や小昆虫を捕食する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

西宮市、高砂市、三木市、南あわじ市、明石市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

近年の生息情報はあるものの、絶滅危惧の状況は変わっていない。生息に適した規模の大きな砂地環境はほとんど見られないが、三木市の記録のように内陸部の河川周辺で得られた例もある。

保護上の留意点

砂地環境の保全